

第2期 子ども子育て支援事業計画 個別計画R5年度実績見込み

<目標> 子どもと親と地域の笑顔があふれ、安心して子育てのできるまち いなし

<基本方針1> 子どもが健やかに育つ子育て支援

		通し番号	具体的な施策	所管課	R5年度 事業計画	①R5年度 実績見込み (具体的数値、内容)
(1)経済的支援	保護者負担の軽減	1	児童手当	子育て支援課	中学校修了前の児童を養育している人に支給 支給額 3歳未満 月15,000円 3歳以上小学校修了前 (第1子・2子) 月10,000円 (第3子) 月15,000円 中学生 月10,000円 特例給付 月5,000円	支給実績 延べ 83,542人 611,875千円
		2	子どもの医療費助成	健康推進課	子どもの医療費の対象を、出生から高校生世代までの入院とし、通年で窓口無料化とする。	出生～高校生世代の入・通院の医療費を助成した。 (受診時の自己負担額は無料) ・給付件数 120,148件 ・給付金額 193,153千円
		3	出産祝金	子育て支援課	令和5年度より、出産祝金は全市域に拡充(過疎・モデル地域同額)したため、地域創造課では予算化していない。(地域創造課) 出産祝金を第1子5万、第2子7万、第3子以降10万を支給。ただし、生後半年までは伊那市に住民票を置く養育者が対象。(子育て支援課)	出産祝金を第1子5万、第2子7万、第3子以降10万を支給した。 支給実績 延べ244件 10,860千円 (子育て支援課)
		4	乳児おむつ用品購入券支給事業	健康推進課	子育てに必要なおむつ用品を購入する、その一部を助成する。子育て世帯の経済的負担を軽減し、市民誰もが安心して子どもを産み育てることができる環境を整備し、少子化対策及び子育て生活支援を図ることを目的とする。支給対象児1人につき24,000円を限度。	子育てに必要なおむつ用品を購入する、その一部を助成した。 発券者数375名 事業者への補助額 7,977,134円
		5	市営住宅(子育てすまいる)	管理課	子育て住まいる事業の終期が令和6年3月までとなっているため、本年度中に延長について検討を行う。	子育て住まいる事業令和9年3月まで延長(12月議会において議決済み)64件支給
		6	いな住まいる補助金	地域創造課	R5年度新規事業 ・市内在住の若者世代の定着やUターンの促進を図るために住宅の新築・取得に対する補助をする。基本額25万円最大150万円	R5年度新規事業 ・市内在住の若者世代の定着やUターンの促進を図るために住宅の新築・取得に対する補助をした。支給実績 97件 109,250,000円(2月末現在)
		7	家庭保育保護者支援事業	子育て支援課	R5年度新規事業 ・保育園に在籍していないお子さんを家庭で子育てしている保護者が、一時預かりサービスを利用した場合の利用料の一部を補助する。上限9,000円(年)として利用回数に応じて支給する。	実績 10件 57,000円

第2期 子ども子育て支援事業計画 個別計画R5年度実績見込み

<目標> 子どもと親と地域の笑顔があふれ、安心して子育てのできるまち いなし

<基本方針1> 子どもが健やかに育つ子育て支援

		通し番号	具体的な施策	所管課	R5年度 事業計画	①R5年度 実績見込み（具体的数値、内容）
(2) 出産環境の整備	妊婦健康診査	8	妊婦一般健康診査	健康推進課	一般健康診査（14回分）を公費負担する。	利用者のべ6,453枚、補助金額 35,373,860円（1月分まで）
	妊産婦支援の充実強化	9	母子健康手帳発行	健康推進課	妊娠届出者に母子手帳を発行する。	妊娠届出者に母子手帳を発行した。281人へ交付
		10	妊婦、出生届出時相談、指導	健康推進課	妊娠届出時に保健師による個別相談と指導を実施する。届出全数に対応する。	妊娠届出時に保健師による個別相談と指導を実施する。届出全数に対応した。281人へ実施
		11	ハイリスク妊産婦への訪問指導、相談（養育支援訪問事業）	健康推進課	妊娠届出時の個別相談において把握したハイリスク妊婦に対し、養育支援ネットワーク会議を月1回開催して支援計画を作成し、保健師の訪問等により継続支援をする。	妊娠届出時の個別相談において把握したハイリスク妊婦に対し、養育支援ネットワーク会議を月1回開催して支援計画を作成し、保健師の訪問等により継続支援をした。 新規ハイリスク者19人、継続支援者117人 養育訪問実施2人、保健師訪問延べ 34人
		12	産後ケア事業	健康推進課	産褥期の機能回復に不安のある者や初産婦等で育児不安のある者を対象に、7日間限度で上伊那管内クリニックや助産院等での宿泊、日帰り又は訪問型支援の利用に対して補助を行う。	産褥期の機能回復に不安のある者や初産婦等で育児不安のある者を対象に、7日間限度で上伊那管内クリニックや助産院等での宿泊、日帰り又は訪問型支援の利用に対して補助を行った。 宿泊6人、日帰り2人、訪問5人利用、延べ利用日数32日

第2期 子ども子育て支援事業計画 個別計画R5年度実績見込み

<目標> 子どもと親と地域の笑顔があふれ、安心して子育てのできるまち いなし

<基本方針1> 子どもが健やかに育つ子育て支援

		通し番号	具体的な施策	所管課	R5年度 事業計画	①R5年度 実績見込み（具体的数値、内容）
子育て講座等の開催		13	ハッピーバース講座の充実	健康推進課	ハッピーバース講座と出産応援セミナーを統合し、産前学級①～④として開催。出産2か月前の妊婦対象の④で、産後のサービスや支援を伝えたり、出産育児に向けての個別相談を実施。①と④の回は全員参加を基本とし、母子手帳交付時に通知を渡す。③は隔月、それ以外は月1回の実施。	ハッピーバース講座と出産応援セミナーを統合し、産前学級①～④として開催した。参加人数310人 出産2か月前の妊婦対象の④で、産後のサービスや支援を伝えたり、出産育児に向けての個別相談を実施。 ①と④の回は全員参加を基本とし、母子手帳交付時に通知を渡した。 ③は隔月、それ以外は月1回の実施。
		14	出産応援セミナーの開催	健康推進課		
その他		15	不妊治療費助成事業	健康推進課	・不妊治療者の経済的負担の軽減のため、治療の助成を拡充する。 ・市ホームページへの掲載、県窓口にパンフレットを置き、事業の啓発拡大を行う。	・不妊治療者の経済的負担の軽減のため、治療の助成をした。 助成実績19件、1,571,524円 ・市ホームページへの掲載、県窓口にパンフレットを置き、事業の啓発拡大を行った。
		16	産科等開業支援事業	健康推進課	不妊に悩む市民が身近で安心して治療を受けられる環境を整備するため、市内に不妊治療専門医療機関を開業しようとする者に1,500万円を上限に補助金を交付する。	該当なし
		17	助産施設への入所	子ども相談室	経済的理由により入院助産を受けることが出来ない妊産婦に対し中央病院に入院助産委託する。	1/31現在実績なし
		18	ウッドスタート事業 ブックスタート事業 子守歌CD贈呈事業	耕地林務課 生涯学習課 子育て支援課	【ウッドスタート事業】伊那市における木工産業の振興と木育の推進を目的に、6か月相談時に木のおもちゃを贈呈する。 （耕地林務課） 【ブックスタート事業】6か月健診時に本をプレゼントし、子育ての中に読み聞かせを取り入れることで、豊かな心を育む子育てを推進する。 （生涯学習課） 【子守歌CD贈呈事業】誕生祝品として、伊那市歌うふるさと大使である由紀さおりさんと姉の安田祥子さんが唄う子守唄のCDを対象希望者に1枚贈呈。子守唄には、子どもや親の心を落ち着かせたり、言葉や知覚の発達を促すなど様々な効果があるとされている。 （子育て支援課）	【ウッドスタート事業】387品贈呈（耕地林務課） 【ブックスタート事業】373冊贈呈（生涯学習課） 【子守歌CD贈呈事業】217枚贈呈（子育て支援課）

第2期 子ども子育て支援事業計画 個別計画R5年度実績見込み

<目標> 子どもと親と地域の笑顔があふれ、安心して子育てのできるまち いなし

<基本方針1> 子どもが健やかに育つ子育て支援

		通し番号	具体的な施策	所管課	R5年度 事業計画	①R5年度 実績見込み (具体的数値、内容)
(3)子どもと親への健康支援	乳児家庭全戸訪問事業	19	乳児(新生児)訪問指導・養育支援訪問事業	健康推進課 子育て支援課 子ども相談室	<ul style="list-style-type: none"> ・乳児の健全な発育発達の援助と母親の不安や悩みについて訪問支援を行う。出生全数に対応する。 ・妊娠中から出生後の母子への養育訪問支援を行う。(健康推進課) ・母子家庭の母に対して保健師及び家庭児童相談員と連携支援を行う。(子育て支援課) ・子ども相談室と連携し、保健師等が養育支援を行う。(学校教育課) ・健康推進課と連携し、保健師等が養育支援を行う。(子ども相談室) 	<ul style="list-style-type: none"> ・乳児の健全な発育発達の援助と母親の不安や悩みについて訪問支援を行った。出生全数に対応した。260人訪問 ・妊娠中から出生後の母子への養育訪問支援を行った。20人(健康推進課) ・母子家庭の母に対して保健師及び家庭児童相談員と連携支援を行った。(子育て支援課) ・子ども相談室と健康推進課が連携し、養育支援を行った。(健康推進課 子ども相談室)
	乳幼児健康診査及び相談事業	20	乳幼児健康診査	健康推進課	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関で実施する乳児一般健康診査の受診券交付(1人1枚) 〈実施する乳幼児健診及び相談〉 各月2~3回実施 3か月乳児健診 1歳6か月児健診 6か月乳児相談 2歳児健診 10か月乳児健診 3歳児健診 ・3歳児健診時に保育士が参加し遊びの提供をしながら子どもの様子を見て保育園へ繋げていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関で実施する乳児一般健康診査の受診券交付(1人1枚)261人受診 〈実施する乳幼児健診及び相談〉 各月2~3回実施 3か月乳児健診320人受診 1歳6か月児健診337人受診 6か月乳児相談314人受診 2歳児健診325人受診 10か月乳児健診312人受診 3歳児健診348人受診 ・3歳児健診時に保育士が参加し遊びの提供をしながら子どもの様子を見て保育園へ繋げた。
		21	育児・母乳相談	健康推進課	医療機関や助産所助産師による育児母乳等の相談を受ける場合の補助を行う「妊婦・育児相談券」を交付(1歳6か月までの間で、2,000円の助成券を1人5枚交付)	医療機関や助産所助産師による育児母乳等の相談を受ける場合の補助を行う「妊婦・育児相談券」を交付(1歳6か月までの間で、2,000円の助成券を1人5枚交付)194人、386枚使用
		22	ママヘルプサービス	健康推進課	出産後に家族内に家事、育児等の補助者のいない家庭に、出産の翌日から12週以内でヘルパー派遣の補助を行う。	出産後に家族内に家事、育児等の補助者のいない家庭に、出産の翌日から12週以内でヘルパー派遣の補助を行った。9人、85日利用 250,000円
		23	あそびの教室	健康推進課 子育て支援課	<ul style="list-style-type: none"> ・専門的な支援が必要と思われる子どもに対して集団遊びを行い発達を促すとともに、親に対して適切な育児支援を行う。 じゃんぶ・すてっぶ・すてっぶミニ・どんぐり各月2回 ・児童発達支援センターで、様々な不安や悩みを抱える子どもが自立へ向けて生きていく力を培うための相談・支援を行う。(子育て支援課) 	<ul style="list-style-type: none"> ・専門的な支援が必要と思われる子どもに対して集団遊びを行い発達を促すとともに、親に対して適切な育児支援を行った。 じゃんぶ 21回 延べ213人 すてっぶ21回 延べ179人 すてっぶミニ9回 延べ68人 どんぐり21回 延べ146人 ・児童発達支援センターで、様々な不安や悩みを抱える子どもが自立へ向けて生きていく力を培うための相談・支援を行った。小グループ(たんぼぼ)19回実施(子育て支援課)

第2期 子ども子育て支援事業計画 個別計画R5年度実績見込み

<目標> 子どもと親と地域の笑顔があふれ、安心して子育てのできるまち いなし

<基本方針1> 子どもが健やかに育つ子育て支援

		通し番号	具体的な施策	所管課	R5年度 事業計画	①R5年度 実績見込み（具体的数値、内容）
その他		24	予防接種	健康推進課	法定予防接種の実施（すべて個別接種） ・ヒブ ・小児用肺炎球菌 ・四種混合（百日せき、破傷風、ジフテリア、ポリオ） ・BCG ・麻しん風しん ・日本脳炎 ・子宮頸がん ・水痘 ・B型肝炎 ・ロタウイルス感染症	法定予防接種の実施（すべて個別接種） ・ヒブ ・小児用肺炎球菌 ・四種混合（百日せき、破傷風、ジフテリア、ポリオ） ・BCG ・麻しん風しん ・日本脳炎 ・子宮頸がん ・水痘 ・B型肝炎 ・ロタウイルス感染症
		25	小児慢性特定疾患患者への見舞金支給	健康推進課	伊那市難病患者等見舞金（小児慢性特定疾患分 年額10,000円 所得制限なし）を支給する。	・難病患者等見舞金 支給件数 368人3,680,000円1/31現在（うち小児慢性特定疾患分 28人 280,000円）
		26	休日救急当番運営事業	健康推進課	休日緊急当番医事業（上伊那医師会）及び休日緊急歯科診療事業（上伊那口腔保健センター・上伊那歯科医師会）の費用を負担し事業を継続実施する。	休日緊急当番医事業（上伊那医師会）及び休日緊急歯科診療事業（上伊那口腔保健センター・上伊那歯科医師会）の費用を負担し事業を継続実施した。 ・休日緊急当番医事業負担金2,014千円 ・休日歯科診療事業負担金 2,590千円

第2期 子ども子育て支援事業計画 個別計画R5年度実績見込み

<目標> 子どもと親と地域の笑顔があふれ、安心して子育てのできるまち いなし

<基本方針1> 子どもが健やかに育つ子育て支援

		通し番号	具体的な施策	所管課	R5年度 事業計画	①R5年度 実績見込み (具体的数値、内容)
(4)相談体制の充実	各事業での相談体制の充実	27	育児相談	健康推進課 文化交流課 学校教育課 子ども相談室 子育て支援課	育児相談を実施する ・育ちの相談(予約制) 毎月1回(各支所、高遠町保健センター、長谷健康増進センター育児相談 毎週1回・本庁、伊那市保健センター育児相談 随時実施)(健康推進課) ・助産師による出産・育児相談(生涯学習センターちびっこ広場)毎月1回(文化交流課) ・子育て、教育に関する相談 随時実施し、関係する機関と連携する。(学校教育課・子ども相談室・子育て支援課)	育児相談を実施した。 ・育ちの相談(予約制) 毎月1回延べ17人(2月まで) ・各支所、高遠町保健センター、長谷健康増進センター育児相談 毎週1回 ・本庁、伊那市保健センター育児相談 随時実施(健康推進課) ・助産師による出産・育児相談(生涯学習センターちびっこ広場)毎月1回 延べ64件(文化交流課) ・子育て、教育に関する相談 随時実施し、関係する機関と連携。(学校教育課・子ども相談室・子育て支援課)
		28	こころの相談	健康推進課	こころの健康のバランスを崩す心配がある子どもや両親に対し、臨床心理士による相談支援を行う。 毎月2～3日 伊那市保健センター(予約制)	相談者実人数 54人(延べ141人)(実績は子どもや保護者に限らない)
		29	子育て講座・親育て講座	健康推進課 子育て支援課 生涯学習課	・各公民館で、未就園児とその親を対象とした子育て講座を開催し、子育ての楽しさの共有や子育ての悩みについて相談できる環境を整える。(生涯学習課) ・子育て支援センターで保健師が子育て講話を行う。(健康推進課・子育て支援課)	・各公民館で、未就園児とその親を対象とした子育て講座を開催し、子育ての楽しさの共有や子育ての悩みについて相談できる環境を整えた。登録109世帯134人(生涯学習課) ・子育て支援センターで保健師が子育て講話を行った。講話20回、132組(健康推進課・子育て支援課)
	総合相談体制の充実	30	総合相談体制	福祉相談課	複数の機関をまたぐ複合的な課題を抱えた家庭に対しての総合相談窓口として関係機関と連携をとりながら、専門職等がチームとなって支援を行う。(重層的支援体制整備事業含む)	・複数の機関をまたぐ複合的な課題を抱えた家庭に対して、重層的支援会議を3世帯について開催した。相談支援包括化協力員会議を2回、チーム会議を1回開催し、相互に情報共有と支援体制について確認した。 ・関係機関(学童クラブ、主任児童委員会等)で、子ども相談室の業務等について説明した。

第2期 子ども子育て支援事業計画 個別計画R5年度実績見込み

<目標> 子どもと親と地域の笑顔があふれ、安心して子育てのできるまち いなし

<基本方針1> 子どもが健やかに育つ子育て支援

		通し番号	具体的な施策	所管課	R5年度 事業計画	①R5年度 実績見込み（具体的数値、内容）
(5)子育て支援体制の構築	地域子育て支援拠点事業	31	子育て支援センター事業	子育て支援課	<ul style="list-style-type: none"> ・竜南・上の原・富県・西箕輪・高遠の5センターの運営 ・育児用品などのリサイクル交換会を行う（富県）。 ・地域交流を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・竜南・上の原・富県・西箕輪・高遠の5センターの運営 ・育児用品などのリサイクル交換会を行った。（富県2回実施）。 ・地域交流を行った。
		32	子育てサークルや団体への支援	子育て支援課	<ul style="list-style-type: none"> ・ファミリー・サポート・センター協力会員による活動の託児 ・双子育児サークル「さくらんぼの会」等で育児講話や相談を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ファミリー・サポート・センター協力会員による活動の託児 15件 ・双子育児サークル「さくらんぼの会」等で育児講話や相談を行った。開催4回 延べ 19組（子育て支援課）
		33	子育て学級	生涯学習課	各公民館で、未就園児とその親を対象とした子育て講座を開催し、子育ての楽しさの共有や子育ての悩みについて相談できる環境を整えていく。（生涯学習課）	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館の子育て教室の実績 登録数は全公民館で109世帯134人。伊那10回、富県9回、美篤11回、手良11回、東春近8回、西箕輪11回、西春近11回、高遠町10回、長谷11回、伊那、富県はキッドビクス 西春近は 赤ちゃん対象のベビー教室を開催した。 ・季節に合わせた行事（いちご狩り、運動会、クリスマスなど）や畑づくり、講演会など企画し、交流や悩み相談などを行った。（生涯学習課）
		34	子育てサークル等の拡充	子育て支援課健康推進課	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てガイドブックで子育てサークルを紹介する。 ・乳幼児健診や乳児訪問時に必要な親子に子育てサークルを紹介する。（子育て支援課） 	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てガイドブックで子育てサークルを紹介した。 ・乳幼児健診や乳児訪問時に必要な親子に子育てサークルを紹介した。（子育て支援課）
ファミリー・サポート・センター事業、一時預かり事業	ファミリー・サポート・センター事業	35	ファミリー・サポート・センター事業	子育て支援課	会員相互の地域での助け合いの託児等の支援 <ul style="list-style-type: none"> ・6、7月に協力会員養成講座を定住自立圏で共同開催し会員増を図る。 ・スキルアップ研修会開催 	会員相互の地域での助け合いの託児等の支援 <ul style="list-style-type: none"> ・6、7月に協力会員養成講座を定住自立圏で共同開催し会員増を図った。協力会員12人 ・スキルアップ研修会を開催した。 1回8人
		36	一時預かり事業	子育て支援課	通院、求職、リフレッシュ等の一時的な保育を必要とする保護者を支援するため市内の公立私立の8圏で実施	通院、求職、リフレッシュ等の一時的な保育を必要とする保護者を支援するため市内の公立私立の8圏で実施した。
子育て短期支援事業	子育て支援短期利用事業	37	子育て支援短期利用事業	子ども相談室 子育て支援課	<ul style="list-style-type: none"> ・一時的（1回利用が7日間まで）に保護者が養育を行うことが困難である時、児童養護施設「たかずやの里」、ファミリーホーム、里親に宿泊委託する。 ・たかずや福祉会の運営に対する支援を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一時的（1回利用が7日間まで）に保護者が養育を行うことが困難である時、児童養護施設「たかずやの里」、ファミリーホーム、里親に宿泊委託した。 利用児童数 延べ15人(子ども相談室) ・たかずや福祉会の運営に対する支援を行った。（子育て支援課）
		38	乳幼児健診体験学習（中高生）	健康推進課	希望校の実施申し込みに対応する。	希望校なし。

第2期 子ども子育て支援事業計画 個別計画R5年度実績見込み

<目標> 子どもと親と地域の笑顔があふれ、安心して子育てのできるまち いなし

<基本方針1> 子どもが健やかに育つ子育て支援

		通し番号	具体的な施策	所管課	R5年度 事業計画	①R5年度 実績見込み（具体的数値、内容）	
(6) 育児支援と情報提供	ワークライフバランスの啓発	39	事業者への啓発活動	商工振興課	企業アンケートに併せて、ワークライフバランスを含む企業人権パンフレットを事業者へ配布し、生活と仕事の調和について考えるきっかけとしてもらう。	企業アンケートに併せて、ワークライフバランスを含む企業人権パンフレットを事業者へ配布した。203社	
		40	ながの子育て家庭優待パスポート事業	子育て支援課	・新規事業者募集を行う。 ・転入者や妊婦などの新規対象者にカードを発行する。 ・パスポート事業周知や紛失時に再発行できることなどの広報を行う。	・新規事業者募集を行った。伊那市内登録店舗数44店舗 ・転入者や妊婦などの新規対象者にカードを発行した。 ・パスポート事業周知や紛失時に再発行できることなどの広報を行った。 ・パスポートの期限更新に伴い該当者に郵送した。6016件	
	子育て支援ガイドブック等の情報発信	41	子育てガイドブック	子育て支援課	子育て情報をまとめたガイドブックを、年1回更新発行し、妊娠届出時、転入時に配布する。	子育て情報をまとめたガイドブックを発行し、妊娠届出時、転入時に配布した。移住希望者への子育て支援資料として好評。発行数2000部	
		42	ホームページやメール発信での情報提供	子育て支援課	安心安全メールの0～2歳情報で、未就園児向きの情報発信を行う。毎金曜日	安心安全メールの0～2歳情報で、未就園児向きの情報発信を行った。毎金曜日40回配信（1/31現在）	
	(7) ひとり親家庭への支援	ひとり親家庭への支援	43	遺児等福祉金	子育て支援課	父又は母が死別、重度障害となった18歳未満の児童を養育する保護者に児童1人年額24,000円を支払う。（8月）	50件（80人）1,920,000円
			44	母子父子自立支援員の設置	子育て支援課	女性相談員2名体制で子ども相談室や関係機関と連携し、ひとり親家庭の相談や就労支援等、自立に向けた支援を行う。	子ども相談室や関係機関と連携し、ひとり親家庭の相談や就労支援等、自立に向けた支援を行った。相談件数延べ548件
45			児童扶養手当	子育て支援課	ひとり親家庭に対する生活の安定と自立支援のため満18歳の年度末までの児童を養育する保護者に手当を支給 支給額（所得制限あり）児童1人 全部支給月額43,070円 一部支給10,170円～43,060円第2子以降加算あり	支給人数 延べ6,675人 176,567,080円	
46			ひとり親家庭の親と子の集い	子育て支援課	・ひとり親家庭対象のバスハイク（コロナの状況を見ながら）実施 ・ひとり親家庭の交流事業を行う。年6回	・ひとり親家庭対象のバスハイクを実施した。9世帯23人参加。 ・ひとり親家庭の交流事業を行う。年6回	
47			母子生活支援施設の広域入所	子育て支援課	DV等で支援が必要な母子家庭を母子生活支援施設へ入所させる。	DV等で支援が必要な母子家庭を母子生活支援施設へ入所させた。1件	
48			母子家庭等日常生活支援事業	子育て支援課	ひとり親家庭の母親の就労等による託児支援に、ファミリー・サポート・センター会員を支援員として派遣する。	ひとり親家庭の母親の就労等による託児支援に、ファミリー・サポート・センター会員を支援員として派遣した。実績2件	

第2期 子ども子育て支援事業計画 個別計画R5年度実績見込み

<目標> 子どもと親と地域の笑顔があふれ、安心して子育てのできるまち いなし

<基本方針1> 子どもが健やかに育つ子育て支援

		通し番号	具体的な施策	所管課	R5年度 事業計画	①R5年度 実績見込み（具体的数値、内容）
(8)発達相談と療育の充実	児童発達支援事業	49	児童発達支援センター	子育て支援課	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の中核的な療育支援施設支援としての児童発達支援センター小鳩園で、発達に課題のある子どもが自立に向けて生きていく力を培うための相談・支援を行う。 ・心身の発達に支援を必要とする子どもの発達育成を図る。 ・児童発達支援センターとして1日40人の児童と重度心身障害児5人を受け入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の中核的な療育支援施設支援としての児童発達支援センター小鳩園で、発達に課題のある子どもが自立に向けて生きていく力を培うための相談・支援を行った。 在園児数 56人 【児童発達支援事業】延べ登録人数 499人 延べ利用日数 4,087日 【重症心身障害】延べ登録人数 20人 延べ利用日数 264日 【いーな相談支援事業所】延べ利用人数 607人
		50	障害福祉サービス	社会福祉課 子育て支援課	<ul style="list-style-type: none"> ・上伊那自立支援協議会こども・若者部会を年2回程度開催。こども・若者に関する課題を把握する。 ・把握した課題について3つの連絡会（支援ネットワーク連絡会、重心・要医療的ケア連絡会、こどもサービス連絡会）にて検討を行い、部会として活動総括を行う。 ・こども・若者に関する研修会を実施する。（社会福祉課） 	<ul style="list-style-type: none"> ・上伊那圏域地域自立支援協議会こども・若者部会を2回開催。課題の把握と整理を行い、3つの連絡会で検討した。 ①支援ネットワーク連絡会 外国籍の家庭とのコミュニケーションに関する地域資源について、現状把握と情報共有をした。また、養護学校通学に関して圏域内の取り組みを共有した。 ②重心・要医療的ケア部会 看護師・保健師と医療機関との効果的な連携について学習会を開催した。また、医ケア児災害対策の給電車の活用について学んだ。 ③こどもサービス連絡会 各事業所の現状や課題を共有した。外国籍家庭とのコミュニケーションに関する資源についての共有と事業所における家庭支援についての学習を行った。（社会福祉課）
	51	医療的ケア児支援	子育て支援課	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園の医療的ケア児受け入れのために、引き続き看護師配置を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園の医療的ケア児受け入れのための看護師等配置 保育園1園に1名配置 	

第2期 子ども子育て支援事業計画 個別計画R5年度実績見込み

<目標> 子どもと親と地域の笑顔があふれ、安心して子育てのできるまち いなし

<基本方針1> 子どもが健やかに育つ子育て支援

		通し番号	具体的な施策	所管課	R5年度 事業計画	①R5年度 実績見込み（具体的数値、内容）
(9)児童虐待予防と早期発見・早期対応	児童虐待	52	子どもの総合相談窓口の充実	健康推進課 子育て支援課 学校教育課 子ども相談室 社会福祉課	各支所、伊那市保健センター、高遠町保健センター、長谷健康増進センターで定期健康相談窓口を開設する。 （健康推進課） ・随時本庁窓口で相談を受け付け、関係機関と連携を図る。（子育て支援課・社会福祉課） ・子どものための「SOSカード」を作り学校に配布する。 （子ども相談室） ・0歳から18歳までの全ての子どもとその家族及び妊産婦などを切れ目なく継続的に支援する。 ・要保護児童対策協議会等において、関係機関と連携を図る。（子ども相談室） ・ヤングケアラー対策について連携を図る。（各課共通）	各支所、伊那市保健センター、高遠町保健センター、長谷健康増進センターで定期健康相談窓口を開設した。 （健康推進課） ・随時本庁窓口で相談を受け付け、関係機関と連携を図った。（子育て支援課・社会福祉課） ・子どものための「SOSレター」を作り学校に配布した。 （子ども相談室） ・0歳から18歳までの支援を途切れなく行った。教育相談件数753件 家庭相談件数166件 ・要保護児童対策協議会等において、関係機関と連携を図った。 ・ヤングケアラーの早期把握とケースに応じた適切な支援を実施した。 ・児童虐待防止対策講話の実施（子ども相談室） ・重層的支援体制整備事業の活用（福祉相談課） ・毎月の地区民生児童委員協議会、主任児童委員部会において情報共有を行った。（社会福祉課 子育て支援課）
		53	要保護児童地域対策協議会の充実	子育て支援課 学校教育課 社会福祉課 福祉相談課	要保護児童対策地域協議会により、関係機関の代表者や担当者との連携を図り、児童虐待の早期発見と対応や継続支援を行い、重篤事例の発生防止に努める。また、要保護児童の情報共有や支援内容の協議と見直しを定期的に行い、子どもの安心できる生活環境の構築を図る。 （子ども相談室）	要保護児童対策地域協議会により、関係機関の代表者や担当者との連携を図り、児童虐待の早期発見と対応や継続支援を行い、重篤事例の発生防止に努めた。また、要保護児童の情報共有や支援内容の協議と見直しを定期的に行い、子どもの安心できる生活環境の構築を図った。 （子ども相談室）
(10)子どもの貧困対策の推進	教育の支援	54	相談・指導体制の充実	学校教育課	・スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー及び子どもと親の相談員を配置し、児童生徒の家庭環境等を踏まえた相談・指導体制を確保する。 ・長期休業中の中学生の居場所づくり、生活リズムの構築のため、学習支援ボランティアを活用した中学生の自習室を設置し学習の支援を行う。また、小中学校の放課後等で同じくボランティアの協力により学習支援を行っていく。（学校教育課）	・スクールソーシャルワーカー（1人）、スクールカウンセラー（5人）及び子どもと親の相談員（13人）を配置し、児童生徒の家庭環境等を踏まえた相談・指導体制を確保した。 ・長期休業中の中学生の居場所づくり、生活リズムの構築のため、学習支援ボランティアを活用した中学生の自習室を設置し学習の支援を行った。夏休み（5日）間延べ250人 冬休み（2日間）延べ90人参加。また、小中学校の放課後等で同じくボランティアの協力により学習支援を行った。 （学校教育課）

第2期 子ども子育て支援事業計画 個別計画R5年度実績見込み

<目標> 子どもと親と地域の笑顔があふれ、安心して子育てのできるまち いなし

<基本方針1> 子どもが健やかに育つ子育て支援

		通し番号	具体的な施策	所管課	R5年度 事業計画	①R5年度 実績見込み（具体的数値、内容）
生活の支援		55	学習・生活の支援	福祉相談課 子育て支援課 学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> 生活困窮者世帯の子どもに対する学習・生活支援事業を実施し、居場所づくりや学習支援を行う。（福祉相談課） 子どもの学習・生活支援事業により、ひとり親家庭の児童・生徒への支援を行う。（子育て支援課） 学力向上支援員による放課後学習や授業支援を行う。（学校教育課） 子育て世帯訪問支援事業を実施し、該当児には関係機関と連携し、生活支援を行う。（子ども相談室） 	<ul style="list-style-type: none"> 生活困窮者世帯の子どもに対する学習・生活支援事業を実施し、居場所づくりや学習支援を行った。（福祉相談課） 子どもの学習・生活支援事業により、ひとり親家庭の児童・生徒への支援を行った。（伊那市社会福祉協議会実施ふれあい食堂 学習支援参加人数・夏休み7/25～8/18（15日間）86人・冬休み12/26～1/5（4日間）33人 さくら教室215人 家庭相談員、女性相談員、母子父子自立支援員との相談支援体制により、支援を行った。（学校教育課・子育て支援課）
保護者に対する就労支援		56	就労支援の充実	福祉相談課	<ul style="list-style-type: none"> 生活保護世帯の中で就労可能な被保護者について、ハローワークへの同行や助言等の支援を行う。 生活困窮者自立支援事業により、生活困窮や就労に関する相談を受け付け、関係機関と連携して対応する。 	<ul style="list-style-type: none"> 生活保護世帯の中で就労可能な被保護者について、ハローワークへの同行や助言等の支援を行った。 生活困窮者自立支援事業により、生活困窮や就労に関する相談を受け付け、関係機関と連携して対応した。
		57	ひとり親家庭自立支援事業	子育て支援課	自立支援教育訓練給付金事業、高等職業訓練促進給付金等事業により、ひとり親家庭の就業に有利となる資格取得費用や、資格取得中の生活費となる費用を補助する。	自立支援教育訓練給付金事業 1/31現在実績なし 高等職業訓練促進給付金等事業 4件 2,852,500円
経済的支援		58	生活・就労の相談	管理課 社会福祉課 福祉相談課	生活困窮者自立支援事業により、生活困窮や就労に関する相談を受け付け、関係機関と連携して対応する。	生活困窮者自立支援事業により、生活困窮や就労に関する相談を受け付け、関係機関と連携して対応した。
		59	母子・父子家庭医療費助成	健康推進課	<ul style="list-style-type: none"> ひとり親家庭の親子等の医療費を助成する。（所得制限あり） 高校生世代までのひとり親等の子については、窓口無料化とする。（通年） 	ひとり親家庭の親子等に対する医療費の助成。 <ul style="list-style-type: none"> 支給対象者 1,131人 支給金額 27,861千円 ひとり親等の子については、自己負担なし。
		60	ひとり親家庭生活資金貸付金	子育て支援課	ひとり親家庭の家計支援策として、児童扶養手当1か月分を貸し付ける。家計やりくり指導も行う。	178件 9,021,320円
		61	母子父子寡婦福祉資金の貸付	子育て支援課	ひとり親家庭の子どもが専門学校等に進学する際の修学資金等、長野県の貸付の受付を行う。	1件 304,000円
		62	就学援助	学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> 経済的理由により就学困難な児童生徒の保護者に対し、就学のために必要な経費の一部を助成し、就学を支援する。（学校教育課） 	<ul style="list-style-type: none"> 経済的理由により就学困難な児童生徒の保護者に対し、就学のために必要な経費の一部を助成し、就学を支援した。 R5 就学援助対象児童生徒数 小学校366人、中学校197人 R5 入学前支給対象児童生徒数 小学校61人、中学校52人

第2期 子ども子育て支援事業計画 個別計画R5年度実績見込み

<目標> 子どもと親と地域の笑顔があふれ、安心して子育てのできるまち いなし

<基本方針2> 乳幼児保育と幼児教育の充実

		通し番号	具体的な施策	所管課	R5年度 事業計画	①R5年度 実績（具体的数値、内容）
(1) 保育・教育内容の充実	保育教育の質の向上	63	保育内容の充実	子育て支援課	<ul style="list-style-type: none"> ・保育の質の向上を図るため、保育士研修を実施 ・園長会や保育プロジェクト委員会等において、情報交換を行いつつ、さらなる充実に向けた課題を検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育の質の向上を図るため、保育士研修を実施（年30回、延べ参加人数222人） ・年間22回（2月末時点）の園長会を開催して、情報交換を行いつつ、さらなる充実に向けた課題を検討 ・保育プロジェクト委員会では課題を共有した。
		64	地域活動事業	子育て支援課	<ul style="list-style-type: none"> ・園庭開放。園開放など各園にて実施 ・全保育園にて地域交流を実施。小学校、中学校、高校、高齢者クラブ、小鳩園、信州大学、地産グループ等 	<ul style="list-style-type: none"> ・園庭解放、園開放など各保育園にて実施（ふれあい87回） ・全保育園にて地域交流を実施（70回） ・小学校・中学校・高校・高齢者クラブ・小鳩園・信州大学・地産グループ等
		65	幼・保・小連携	学校教育課 子育て支援課	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士、教員の資質向上として園内、校内研修の実施、「幼保小連携プログラム」の充実を図る。 ・地域ごとの連携 授業参観、保育参観、公開授業保育を継続する。 ・連続性、一貫性を持って子どもの育ちと学びを支援していくことのできる体制を構築する。 ・実態を体験的に感得する機会として教職員相互の一日体験を継続する。 ・発達上支援の必要な乳幼児・学童・生徒について「成長ダイアリー」を活用し、乳児期から幼稚園・保育園、幼稚園・保育園から小学校、小学校から中学校、中学校から高校、就労支援へ情報をつなぎ、支援を継続していく。 ・保育園、幼稚園児、小学校、中学校の児童生徒間相互の交流を進める。 ・「小1プロブレム」の問題を解消するために、幼保小連携推進委員会を開催し、幼保小連携プログラムに基づく取組の実践と検証を行いながら、引き続きより良い連携の在り方を検討していく。（学校教育課 子育て支援課） 	<ul style="list-style-type: none"> ・「幼保小連携プログラム」の充実。幼保小連携推進委員会 2回開催 参加者13人 幼保小連携プログラムの実践と検証を行った。合同研修の開催（参加者13人） ・地域ごとの連携 授業参観、保育参観、公開授業保育を実施。伊那中学校区保小中公開の実施 ・連続性、一貫性を持って子どもの育ちと学びを支援していくことのできる体制を構築。アプルーチカリキュラム及びスタートカリキュラムの作成 来入児（組分け）カードの作成 ・実態を体験的に感得する機会として教職員相互の一日体験を実施。保育士23名小学校教員67人参加 ・発達上支援の必要な乳幼児・学童・生徒について「成長ダイアリー」を活用し、乳児期から幼稚園・保育園、幼稚園・保育園から小学校、小学校から中学校、中学校から高校、就労支援へ情報をつなぎ、支援を継続した。 ・保育園、幼稚園児、小学校、中学校の児童生徒間相互の交流を実施した。15園、延べ59回
		66	食育への取組	子育て支援課	<ul style="list-style-type: none"> ・食育年間計画に沿った月齢別食育の推進 ・各園での地域協働の食育活動 ・保育士、給食技師を対象にした子どもの食についての研修会実施（離乳食・乳児食・アレルギー対応など） 	<ul style="list-style-type: none"> ・食育年間計画に沿った月齢別食育の推進 ・各園での地域協働の食育活動 ・給食技師を対象にした子どもの食についての研修会実施（離乳食・乳児食・アレルギー対応など）3回
	67	保育士等の確保と処遇改善	子育て支援課	<ul style="list-style-type: none"> ・3歳未満児の入園数の増加傾向に対応する保育士の募集 ・保育士等のやりがいのある職場づくりと、処遇改善 ・担い手を確保するため保育実習の受入れや中学生主催のキャリアフェスなどに参加する。また、大学等の保育士育成機関への情報発信を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士の募集を通年行った。 ・保育士等のやりがいのある職場づくりと、処遇改善 ・担い手を確保するため保育実習の受入れや大学等の保育士育成機関の相談会（3回）に参加した。 ・中学生キャリアフェスに保育士ブースで参加し、発信した。 ・業務改善のためおそうじ先生を配置した。 	
	保育士等の確保と処遇改善					

第2期 子ども子育て支援事業計画 個別計画 R5年度実績見込み

<目標> 子どもと親と地域の笑顔があふれ、安心して子育てのできるまち いなし

(2) 保育・教育サービスの充実	保護者負担の軽減	68	保育園保育料軽減	子育て支援課	<ul style="list-style-type: none"> 子育て世代の負担軽減を図るため、基本保育料の減額を行う。 多子世帯に対し保育料の軽減を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 子育て世代の負担軽減を図るため、基本保育料の減額を行った。 多子世帯に対し保育料の軽減を行った。
		69	幼稚園保育料等軽減	子育て支援課	<ul style="list-style-type: none"> 子育て世代の負担軽減を図るため、基本利用料の減額を行う。 施設型給付費を支給し利用者負担を軽減する。 	<ul style="list-style-type: none"> 子育て世代の負担軽減を図るため、基本利用料の減額を行った。 施設型給付費を支給し利用者負担を軽減した。
		70	保育園給食副食費無償化	子育て支援課	<ul style="list-style-type: none"> 3歳以上児の副食費を無償化する。 	<ul style="list-style-type: none"> 3歳以上児の副食費を無償化した。
		71	使用済みの紙おむつの持ち帰り廃止	子育て支援課	<ul style="list-style-type: none"> 使用済み紙おむつは各園で回収・処分する。 	<ul style="list-style-type: none"> 使用済み紙おむつは各園で回収・処分した。 私立園に対しては補助を行う。
	一時預かり事業、延長保育事業、病児病後児保育事業	72	延長保育事業	子育て支援課	市内26園中、24園で実施 朝7:30~8:00 夕16:00~18:30まで 16園 朝7:30~8:00 夕16:00~19:00まで 6園 朝7:00~8:00 夕16:00~19:00まで 1園 朝7:30~8:00 夕16:00~18:00まで 1園	市内26園中、24園で実施 朝7:30~8:00 夕16:00~18:30まで 16園 朝7:30~8:00 夕16:00~19:00まで 6園 朝7:00~8:00 夕16:00~19:00まで 1園 朝7:30~8:00 夕16:00~18:00まで 1園
		73	一時的保育事業	子育て支援課	市内8園で実施。 上の原保育園、竜南保育園、高遠保育園、伊那保育園（私立）、つくしんぼ保育園（私立）、認定こども園伊那緑ヶ丘幼稚園、緑ヶ丘敬愛幼稚園（私立）、認定こども園天使幼稚園（私立）	市内8園で実施 上の原保育園、竜南保育園、高遠保育園、伊那保育園（私立）、つくしんぼ保育園（私立）、認定こども園伊那緑ヶ丘幼稚園、緑ヶ丘敬愛幼稚園（私立）、認定こども園天使幼稚園（私立）
		74	休日保育事業	子育て支援課	12月29日から1月3日までを除く日曜・祝日の保育の実施 場所：上の原保育園	12月29日から1月3日までを除く日曜・祝日の保育を実施 場所：上の原保育園(利用延べ人数306人)

第2期 子ども子育て支援事業計画 個別計画 R5年度実績見込み

<目標> 子どもと親と地域の笑顔があふれ、安心して子育てのできるまち いなし

		75	病児・病後児保育事業	子育て支援課	病気療養中及び回復期において、集団保育が困難の場合に、児童を一時的に預かる。 市内1か所、市外3か所	病気療養中及び回復期において、集団保育が困難な場合に、児童を一時的に預かる。 市内1か所、市外3か所(伊那市利用)延べ674人
		76	幼稚園の長期休業預かり	子育て支援課	長期休業時の預かり保育を市内幼稚園で実施	長期休業時の預かり保育を市内幼稚園で実施
	その他	77	障害児保育の充実	子育て支援課	・状況に応じた保育士の加配 ・巡回チームによる巡回相談 ・支援保育に関する研修会実施	・状況に応じた保育士の加配をした。 ・巡回チームによる巡回相談 ・支援保育に関する研修会実施(3回計画し現在2回実施)、
(3)保育士・幼稚園教諭等の資質の向上	保育士・幼稚園教諭等の資質の向上	78	職員の資質向上	子育て支援課	職層研修：各職層に求められる職務遂行能力の向上と専門性を学ぶ。 専門研修：職務ごとに求められる専門的理論・技術を学ぶ 特別研修：そのほかの研修では実施が予定されていない内容であって、情勢に応じて早期に園全体で受講する必要がある場合	職層研修：各職層に求められる職務遂行能力の向上と専門性を学ぶ。(8回) 専門研修：職務ごとに求められる専門的理論・技術を学ぶ(19回) 特別研修：そのほかの研修では実施が予定されていない内容であって、情勢に応じて早期に園全体で受講する必要がある場合(3回)・性の多様性に関する職員研修会・苦情対応実践講座・感染症等発生予防研修会
(4)地域に密着した特色ある保育・教育活動の推進	地域に密着した特色ある保育・教育活動の推進	79	地域に密着した保育園・幼稚園等の運営	健康推進課 子育て支援課	・食育応援団の活動は休止(健康推進課) ・やまほいく、がるがるっこ、シンボルツリー等の体験の創出による、地域の自然や環境を生かした特色ある活動をする。(子育て支援課)	・やまほいく、がるがるっこ、シンボルツリー等の体験の創出による、地域の自然や環境を生かした特色ある活動を行った。(子育て支援課)
	体験の場の活用	80	地域の自然や環境の活用	子育て支援課	地域運営委員会を中心に、地域との交流保育を全園で実施する。	地域運営委員会を中心に、地域との交流保育を実施した。
	その他	81	地域との連携	子育て支援課	地域運営委員会を中心に、地域との交流保育を実施する。	地域運営委員会を中心に、地域との交流保育を実施した。地域運営委員会、全園延べ44回)

第2期 子ども子育て支援事業計画 個別計画 R5年度実績見込み

<目標> 子どもと親と地域の笑顔があふれ、安心して子育てのできるまち いなし

(5) 保育・教育環境の整備	児童減少地域の子ども保育教育の確保対策	82	若者定住促進に情報発信と、施設の整備・長寿命化	地域創造課 学校教育課 子育て支援課	<ul style="list-style-type: none"> ・若者の定住促進と連携した子育て支援施設等の情報発信 ・オンライン・現地での体験ツアー及び首都圏セミナーや、LINEを含むSNS等を積極的に活用した若者や子育て世代の移住・定住促進に向けた情報発信 (地域創造課) ・小規模学校の特徴を生かす取組である小規模特認校制度について周知を行い、制度に基づく児童の受け入れを行う。 (学校教育課) ・小学校就学前において、保育認定を受けられない子どもの集団活動の体験の場となる教育を可能とするため、必要となる地域の認定こども園化や特別利用保育の実施を研究する。 ・竜北保育園の長寿命化改修 ・高遠第2・第3保育園の建替え (子育て支援課) 	<ul style="list-style-type: none"> ・若者の定住促進と連携した子育て支援施設等の情報発信 ・オンライン及び首都圏でのセミナーのほか、LINEを含むSNS等を積極的に活用した若者や子育て世代の移住・定住促進に向けた情報発信 (地域創造課) ・小規模特認校制度について周知を行い、児童の受け入れを行った。 R5制度利用者 (R5.5.1時点) 新山小7人、伊那西小25人、高遠北小6人 ・LINE公式アカウントをリニューアルし、子育て世帯向けの「子育て」メニューを加え充実させた。LINE登録者数 5780人 (R6.2.15時点) (地域創造課) ・子育て環境確保のための施設整備・長寿命化 竜北保育園の長寿命化改修 高遠第2・3保育園の建て替え (子育て支援課)
	認定こども園化、特別利用保育	83	小学校就学に向けた集団活動の体験	子育て支援課	保育認定を受けられない子どもであっても小学校就学に向けた保育園の活動の体験が可能となる施設について認定する。	対象施設なし
	施設の防犯対策及びICT化等の促進	84	施設の防犯対策及びICT化等の促進	危機管理課 学校教育課 子育て支援課	<ul style="list-style-type: none"> ・伊那市安全会議子ども安全部会による防犯啓発活動 (2回) ・防犯協会と連携した街頭啓発活動 (108回/通年) (危機管理課) ・消防防火設備点検・改修の実施 (学校教育課) ・施設の消防防災計画の点検と見直し ・消防防火の設備及び備品の点検・整備 ・ICTシステムによる更なる業務の効率化 (子育て支援課) 	<ul style="list-style-type: none"> ・伊那市安全会議子ども安全部会による防犯啓発活動 (2回) ・防犯協会と連携した街頭啓発活動 (96回/通年) (危機管理課) ・消防防火設備点検の実施 (学校教育課) ・施設の消防防災計画の点検と見直し ・消防防火の設備及び備品の点検・整備 ・ICTシステムの活用により保護者の利便性の向上、保育業務の効率化が実現した。 (子育て支援課)
(6) 乳幼児とのふれあいの場の提供	職場体験・保育ボランティアの受け入れ	85	職場体験・保育ボランティアの受け入れ	子育て支援課 学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生、高校生及びボランティアの交流受け入れをする。 (学校教育課・子育て支援課) 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生、高校生及びボランティアの交流受け入れを行った。 5回、計13名 (子育て支援課)

第2期 子ども子育て支援事業計画 個別計画 R5年度実績見込み

<目標> 子どもと親と地域の笑顔があふれ、安心して子育てのできるまち いなし

<基本方針3> 青少年健全育成と家庭教育の充実

		通し番号	具体的な施策	所管課	R5年度 事業計画	①R5年度 実績（具体的数値、内容）
(1)子どもの安全安心な居場所確保	子どもの居場所づくり	86	子どもの居場所づくり	生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> 夏休みにおいておいで塾系の講座を9公民館で開催する。 公民館に学習室を設置する。 子供対象の講座や体験教室を開催する。 	<ul style="list-style-type: none"> 「おいで塾」系の講座を開催した。 夏休み期間（9公民館 参加者473人）冬休み期間（2公民館） 学習室の設置をした。 子供対象の講座や体験教室の実施した。（伊那 小学生の将棋、囲碁教室/富県 星空観察会/美篤 親子青空体験教室、小学生ランニング教室、芽と実読み聞かせ/手良 茶道教室/東春近 星空観察会/西箕輪 お仕事体験会、怖いおはなし会、陶芸教室/長谷 ソフトテニス教室）
		87	公園整備	都市整備課	<ul style="list-style-type: none"> 公園施設長寿命化対策事業 殿島城址公園複合遊具更新・鳩吹公園遊具改修・三峰川榛原河川公園四阿及び照明設備改修・伊那公園トイレ等改修 公園の環境整備 除草作業、支障木伐採など 公園遊具安全点検 公園施設維持管理 木製遊具への防腐剤塗布、破損個所の修繕など 	<ul style="list-style-type: none"> 公園施設長寿命化対策事業 殿島城址公園複合遊具更新・鳩吹公園遊具改修・三峰川榛原河川公園四阿及び照明設備改修・伊那公園トイレ等改修 公園の環境整備 除草作業、支障木伐採など 公園遊具安全点検 公園施設維持管理 木製遊具への防腐剤塗布、破損個所の修繕など
		88	児童遊園地設置補助事業	子育て支援課	<ul style="list-style-type: none"> 地域自治団体が児童遊園地を設置（新設（補助率1/2以内）、増設（補助率1/3以内）、改修（補助率1/3以内））する事業に対し予算の範囲内で補助する。 遊具の不備で事故が起きた場合の賠償責任保険の加入。 	<ul style="list-style-type: none"> 2地区に補助をした。（富県貝沼区、美篤笠原区） 遊具の不備で事故が起きた場合の賠償責任保険に加入した。
学童クラブ		89	児童の安全、保育の質の向上 施設整備 保育園、小学校、地域との連携	生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> 長期休業特別学童クラブの開設 14学童クラブ 入所希望調査実施（9月） 施設の修繕・備品の購入 児童福祉担当課との連携 	<ul style="list-style-type: none"> 長期休業特別学童クラブの開設 14学童クラブ延べ利用 18,778人 入所希望調査実施（9月） 児童福祉担当課との連携 施設の修繕・備品の購入 実施 （西箕輪サッシ修繕・伊那小カーペット購入・高遠小除雪機購入） 児童福祉担当課との連携 実施なし エアコン増設（伊那東・伊那西・西春近南）

第2期 子ども子育て支援事業計画 個別計画R5年度実績見込み

<目標> 子どもと親と地域の笑顔があふれ、安心して子育てのできるまち いなし

<p>スクールゾーン・キッズゾーンの設定</p>	<p>90</p>	<p>通学、通園、散歩コース等の安全確保</p>	<p>子育て支援課 学校教育課</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校、保育所、道路管理者、警察等と連携し、子どもたちが日常的に集団で移動する経路の危険個所の確認をし、関係部署に依頼しながら計画的に整備を進める。 ・引き続き学校が決めた通学路を職員やPTAが実際に歩き安全性を確認する。 ・道路管理者の協力により市道で46箇所対策工事を実施する。 ・教員、見守り隊用に安全ベストを配布する。(各校2着)(学校教育課) 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校、保育所、道路管理者、警察等と連携し、子どもたちが日常的に集団で移動する経路の危険個所の確認をし、関係部署に依頼しながら計画的に整備を進めている。(子育て支援課、学校教育課) ・引き続き学校が決めた通学路を職員やPTAが実際に歩き安全性を確認した。 ・道路管理者の協力により国県道36箇所、市道35箇所安全対策工事を実施した。 ・教員、見守り隊用に安全ベストを配布した。(各校3着)(学校教育課)
<p>その他</p>	<p>91</p>	<p>子どもの安全対策</p>	<p>危機管理課 生涯学習課 学校教育課</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「青色防犯パトロール」の実施(危機管理課) ・子ども安全見守り隊の活動に必要な各種消耗品に対して支給を行い、見守り隊の活動に対するサポートを行っていく。(学校教育課) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「青色防犯パトロール」の実施(2,916名/243日)(危機管理課) ・教員、見守り隊用に安全ベストを配布する。(各校3着)(学校教育課) ・街頭巡回の実施(生涯学習課) 毎週土曜日及び学校長期休業期間 ・子ども安全見守り隊の活動に必要な各種消耗品に対して支給を行い、見守り隊の活動に対するサポートを行っていく。(学校教育課)
<p>(2)地域活動の充実</p>	<p>92</p>	<p>地域との連携 コミュニティースクール、子ども見守り隊の推進 よりよい教育環境づくり</p>	<p>学校教育課 生涯学習課</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校の信州型コミュニティースクール運営委員会への運営資金を配当する中で、地域とともにある学校の推進とつながりをより一層図るべく実施していく。(学校教育課) ・信州あいさつ運動(毎月11日)実施の周知及び協力依頼(生涯学習課) 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校の信州型コミュニティースクール運営委員会への運営資金を配当する中で、地域とともにある学校の推進とつながりをより一層図るべく実施した。(学校教育課) ・よりよい教育環境推進取組計画による地域連携 ・信州あいさつ運動(毎月11日)実施の周知及び協力依頼(生涯学習課)
<p>青少年の健全育成</p>	<p>93</p>	<p>ネット依存、子どもの性被害、有害情報等への情報発信等</p>	<p>学校教育課</p>	<p>PTAと学校、地域との連携を図りながら、子どもへの有害と思われる情報等を収集し、文書配布や声かけ等で注意喚起を図る。</p>	<p>PTAと学校、地域との連携を図りながら、子どもへの有害と思われる情報等を収集し、文書配布や声かけ等で注意喚起を図った。</p>
	<p>94</p>	<p>育成会等の団体への支援</p>	<p>生涯学習課 スポーツ課</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・伊那市青少年健全育成事業支援 34団体(生涯学習課) ・伊那市スポーツ少年団活動支援 事務局運営6競技18団体 ・伊那市総合型地域スポーツクラブ活動支援 通年開催の92教室を委託(スポーツ課) 	<ul style="list-style-type: none"> ・伊那市青少年健全育成事業支援 34団体(生涯学習課) ・伊那市スポーツ少年団活動支援 事務局運営6競技18団体 ・伊那市総合型地域スポーツクラブ活動支援 通年開催の92教室を委託(スポーツ課)

第2期 子ども子育て支援事業計画 個別計画R5年度実績見込み

<目標> 子どもと親と地域の笑顔があふれ、安心して子育てのできるまち いなし

(3)家庭教育の推進	家庭教育	95	子どもを温かく見守れる親育て	子育て支援課 学校教育課 子ども相談室	小中学校とPTAが連携し、保護者における子育てや学習などの悩みや問題点を、情報共有したり意見交換する機会を設け、家庭における最良の子どもへの接し方を考える。	小中学校とPTAが連携し、保護者における子育てや学習などの悩みや問題点を、情報共有したり意見交換する機会を設け、家庭における最良の子どもへの接し方を考えた。 保護者連合会講演会 パルーンアート 1/19 参加50組
		96	子どもたちのあるべき姿のランドデザイン	学校教育課	各小中学校の学校目標や教育テーマを軸に、保護者への学校経営の理解を深めてもらう中で、各家庭で取組むべきイメージを構築する。 (学校教育課)	各小中学校の学校目標や教育テーマを軸に、保護者への学校経営の理解を深めてもらう中で、各家庭で取組むべきイメージを構築した。 (学校教育課)
		97	将来へ希望の持てる家庭教育の構築	子育て支援課 学校教育課	学校と各家庭との連携や情報の共有をする中で、自分の子どもが望むあるべき姿や求める環境を教師や親が理解するための懇談機会と相談体制を整える。 (学校教育課)	学校と各家庭との連携や情報の共有をする中で、自分の子どもが望むあるべき姿や求める環境を教師や親が理解するための懇談機会と相談体制を整えた。 (学校教育課) 保育園で保護者との懇談会や家庭訪問の実施(子育て支援課)
(4)インターネット適正利用の推進	インターネット適正利用	98	インターネット適正利用	学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットによる、ネット依存等による引きこもりや子どもの性被害の撲滅に対する啓発を実施する。 ・ネットトラブル相談事業の活用により、未然に子どもの被害を防ぐとともに、適正利用を啓発していく。 ・児童生徒に向けた情報リテラシーやネットマナーの教育を実施する。保護者への案内の充実も図っていく(学校教育課) 	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットによる、ネット依存等による引きこもりや子どもの性被害の撲滅に対する啓発を実施した。 ・ネットトラブル相談事業の活用により、未然に子どもの被害を防ぐとともに、適正利用を啓発した。 ・児童生徒に向けた情報リテラシーやネットマナーの教育や保護者への案内も充実した。(学校教育課)
(5)学校保健・思春期保健との連携	学校保健・思春期保健との連携	99	学校保健と思春期保健等の連携	健康推進課 学校教育課	<p>専門家を招き性教育講演会を開催(小学校 年1回、中学校 年4回) (学校教育課)</p>	<p>専門家を招き性教育講演会を開催(小学校 年1回、中学校 年4回) (学校教育課)</p>
	不登校、引きこもり	100	障害児保育の充実	福祉相談課 健康推進課 学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> ・関係者機関で連携をとり情報共有することで、個別の早期支援体制を整える。 (福祉相談課) ・中間教室に配置している教育支援コーディネーターを中心に、不登校や引きこもりとなっている児童生徒への支援を充実する。 (学校教育課) 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係者機関で連携をとり情報共有することで、個別の早期支援体制を整えた。 (福祉相談課) ・子どもに寄り添い、保護者との相談を重ね、長引かないよう問題解決を図っていく。(健康推進課) ・中間教室に配置している教育支援コーディネーターを中心に、不登校や引きこもりとなっている児童生徒への支援を実施した。 中間教室利用者数：小学生27人、中学生25人 ・不登校児童生徒、生活困窮世帯の児童生徒の学習支援や居場所づくりに取り組んでいるNPO法人の運営費を補助した。(学校教育課)